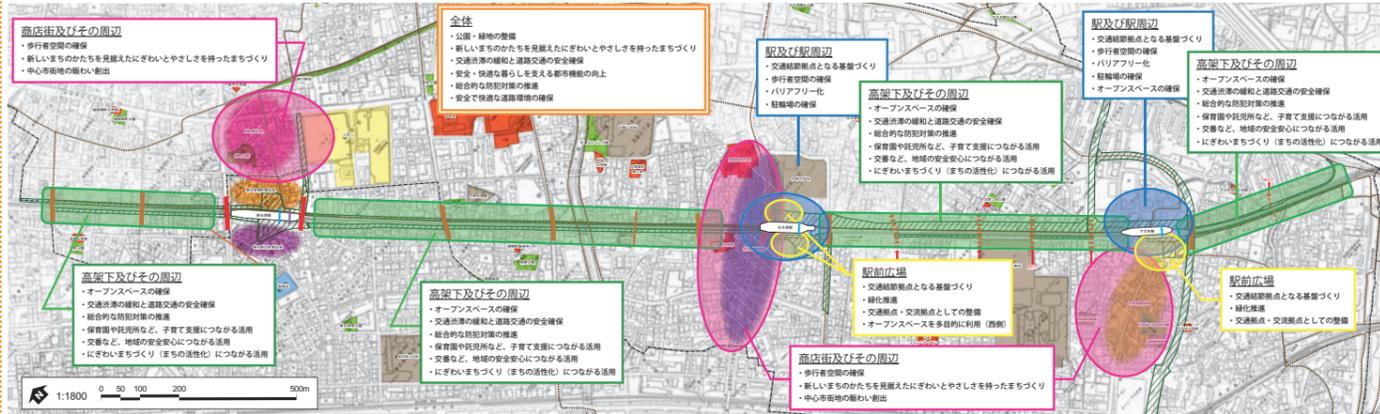


「まちづくり事例を学ぶ」として、大野城市の上位・関連計画の説明と高架下空間整備事例の紹介を行いました。上位・関連計画では、大野城市の都市計画マスタープランと総合計画の中から、高架下及びその周辺について記載されている内容を図面で示し、みなさんの考えたゾーニングと照らし合わせたときの整合性を確認しました。

■市の上位・関連計画（※第3回 しみん会議資料P1参照） （大野城市都市計画マスタープラン、第5次大野城市総合計画後期基本計画より）



●第3回 しみん会議参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・回遊想定人数別の案、5年10年15年のイメージ。
- ・統一コンセプトが必要。
- ・現在の通学路は確保してほしい。
- ・テーマがぼやけすぎ。
- ・沿線公民館で公開ならびに出前の意見交換会を望む。
- ・沿線学校（小・中・高）や幼稚園などの意見も聞きたい。
- ・様々な立場の意見を聞いてとても楽しみになります（10年後）。是非明るく、楽しいまちづくりをお願いします。
- ・意見を出させる誘導が重要と思う

●次回の案内

第4回しみん会議

◆テーマ：空間整備計画の検討1

- ・下大利～白木原
日時：5月下旬予定
場所：未定
- ・瓦田～福岡市境
日時：5月下旬予定
場所：未定

●しみん会議のスケジュール

第1回 平成26年12月9日（火） **終了!**
テーマ：これからのまちづくりを考えよう！

第2回 平成27年1月19日（月）・26日（月） **終了!**
テーマ：まちの将来像を考えよう！1

第3回 平成27年2月16日（月）・18日（水） **終了!**
テーマ：まちの将来像を考えよう！2



第3回ワークショップ テーマ：まちの将来像を考えよう！2

日時：平成27年2月16日（月）・18日（水）19:00～21:00
場所：中央コミュニティセンター（下大利～白木原地区）
大野城市役所（瓦田区～雑餉隈町区・栄町区）

2つの地区（下大利～白木原地区と瓦田区～雑餉隈町区・栄町区）に分かれ、第3回しみん会議を行いました。まず、前回の振り返りで2地区に分かれて出していただいた意見を1つにまとめ、どのようなゾーニングになったのかを図面を使い説明しました。また、そこから読み解ける基本方針（案）について考えてみました。

●10年後の駅周辺での生活について想像しました
ワークでは、まちづくりビジョンを考えるということで、高架下のまちが出来上がった姿を想定しながら、高架下及びその周辺をどのように利用するか話し合いました。話し合いでは、『シニア』・『親子づれ』・『観光客』・『若者・学生』の4つのグループに分かれ、それぞれの立場で平日・休日の朝・昼・夕・夜の時間帯別の行動を考えました。全体的なまちの姿としては、“安全安心で明るく、段差のない歩きやすいまち”が求められているように感じました。また、駅周辺での生活を考えることで『賑わいゾーン』や『憩いゾーン』などにどのような機能が求められているのかが見えてきました。



第3回プログラム

19:00	開会あいさつ 前回の振り返り 本日の進め方
19:20	まちづくり事例を学ぶ
19:50	ワーク： まちづくりビジョンを考える
20:35	意見交換
20:55	事務連絡等
21:00	閉会

- ### 5つの基本方針（案）
- ①来訪者や市民を呼び込み、にぎわいを創出する
 - ②様々な世代間交流や憩いのある場面を創出する
 - ③市民の日常的な利用に資する交通の利便性を創出する
 - ④安全・安心に暮らすことのできる生活環境を創出する
 - ⑤市民と協働で取り組むまちづくりの枠組みを創出する

